

■ ごあいさつ

コミュニールが生まれて1年が経ちました。おかげ様で活動は順調に進んでおり、皆様のご協力に感謝申し上げます。特に愛染橋病院での活動や熊本大学病院で行った「ひびきあうハート Kumamoto2022」プロジェクトは、病院の職員ばかりでなく、企業、一般市民、学生、同窓会、医療関係者など多数の人々の協力とアーティストの西村公一さんの力を結集し、大成功を収めました。他に例を見ないこのような社会連携による病院アートの推進を通して、今後も医療・介護・福祉に貢献すべく活動を展開していく所存です。2023年度は東京のプロジェクトを中心に、また新しい形の病院アートを計画しています。皆様の一層のご協力をよろしくお願い申し上げます。



理事長 永廣信治

■ 会員の内訳

個人正会員

13

法人正会員

3

個人賛助会員

10

法人・団体賛助会員

7

■ 活動資金の内訳

3.2%

雑収益・利息 ¥100,002

6.4%

補助金 ¥200,000

鳴門市（新型コロナウイルス感染症対策地域活動推進補助金）

22.5%

会員入会金・会費 ¥705,000

寄附金 ¥2,129,514

[団体] 5件（敬称略）

BNP パリバ証券株式会社

杏龍会

永和信用金庫

株式会社ヨネザワ

日本生命保険相互会社鳴門営業部

67.9%

[個人] 72件

合計 ¥3,134,516

■ 活動内容

4月

永和信用金庫様（大阪市）新入行員研修

愛染橋病院での活動にご協力いただいている永和信用金庫様に入行した新人13名に、マスキングテープによるホスピタルアートを体験していただきました（オンラインで実施）。



5月

愛染橋病院（大阪市）に新緑の装飾を制作

産婦人科外来に設置していた桜を新緑に替えました。（協力：永和信用金庫9名の皆様）



8月

熊本キワニスクラブで講演

永廣信治理事長・永廣佳理事がコミュニールの活動と「ひびきあうハート Kumamoto 2022」プロジェクトの紹介を行いました。（熊本市、58名参加）



BNP パリバ・グループランチタイムセミナー

「ひびきあうハート Kumamoto 2022」に先立ち、永廣信治理事長・永廣佳理事がホスピタルアートに関するセミナーで講演しました（オンライン、60名参加）。



9月

愛染橋病院に花火の装飾を制作

夜空柄のmtシートに花火を作って小児科外来を飾りました。（協力：永和信用金庫13名の皆様）



「ひびきあうハート Kumamoto 2022」STEP1 オンラインワークショップ

熊本大学病院の作品のパーツとなる小ハートを、アーティスト西村公一氏の指導で制作しました。BNP パリバGの職員、熊本駅前看護リハビリテーション学院と熊本大学医学部の学生等のべ300人ほどが参加し、400枚近くの小ハートが完成しました。



日本生命鳴門営業部様職員ワークショップ

職員19名の皆様に木の葉を作っていただき、営業部会議室の壁面に木の装飾を行いました。



## ■ 受賞

◇ 2022.6.1 愛染園石井十次賞「ホスピタルアート指導による病院への貢献」

## ■ 報道

- ◇ 2022.5.18 「私の幸福時間」(TV 朝日)
- ◇ 2022.11.30 「500 人の思いを込めて「ハート」が広がる 院内を癒して彩る『ホスピタルアート』とは」(RKK 熊本放送「夕方 LIVE ゲツキン!」)
- ◇ 2022.12.8 「大きなハートに癒やされて 熊本大病院にホスピタルアート出現」『熊本日日新聞』朝刊
- ◇ 2023.1.11 「うずとハートのいすサイン」(テレビクシマ「ステップ」)
- ◇ 2023.1.12 「『密回避』優しく促す 案内表示手作り」『徳島新聞』朝刊
- ◇ 2023.3 「ひびきあうハート Kumamoto 2022 プロジェクト」『熊本大病院ニュース』第 33 号 (2023 年春号)
- ◇ 2023.3 「特定非営利活動法人コミュニアル様へご寄贈いただきました〜」『鳴門病院だより』第 66 号 (令和 5 年 3 月号)

## ■ 2023 年度の活動予定

- 2023.4.10 南海病院 (鳴門市) 患者さんワークショップ
- 2023.4.17 永和信用金庫様新入行員ワークショップ
- 2023.5.13 第 14 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 (名古屋市) ポスター発表
- 2023.5.26-27 BNP パリバ・グループ職員ワークショップ (対面+オンライン)
- ー以上実施済みー
- 2023.7.3 大阪リハビリテーション病院患者さんワークショップ、イリュミナル上映
- 2023.10.29 心身医学会中国・四国地方会講演
- 2023 秋 東京都内にてホスピタルアート制作
- ーその他 (時期未定) ー
- オンラインセミナー (医学系/アート系)
- ワークショップ等

## ■ 事務局より

・ 現会員の方で住所・ご連絡先等に変更がある方は速やかに事務局までお知らせください。  
・ 亀井克之理事が『フランス医療機関におけるアート：アートとリスク感性』(関西大学出版部) を出版されました。本書で紹介されているフランスのデジタルアート「イリュミナル」の上映も可能とのことですので、ご希望の方はご連絡ください。

2023 年度も継続的なご支援・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 10 月

### 「ひびきあうハート Kumamoto 2022」STEP2 対面ワークショップ (熊本駅前アミュひろば)

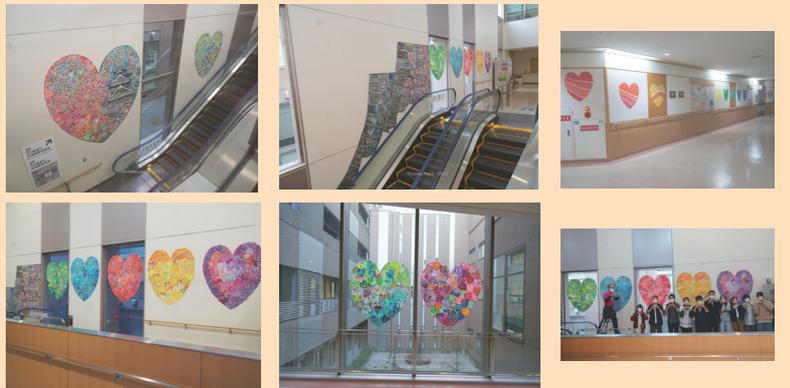
「くま博」のイベントの一環として小ハート作りのワークショップを開催し、2 日間でのべ 335 名の市民が参加し、370 枚あまりのハートができあがる盛況ぶりでした。完成作は「くま博」のロゴをあしらったボードに貼り付けられ、期間中、会場を飾りました。(後日回収) 会場運営には駅前リハ学院と熊大の学生、理事長の知人等にご協力いただきました。



## 11 月

### 「ひびきあうハート Kumamoto 2022」STEP3 現場制作 (熊本大学病院)

STEP1,2 ほかで作った小ハート 937 枚を組み合わせ、外来棟と検査スペースをつなぐエスカレーター側面の壁と 2 階の廊下に大きなハートを作りました。熊本のシンボル熊本城と武者返しの石垣、五輪書をモチーフにしたものに加え、駅前リハ学院と熊大の学生たちによる直貼りの作品もできました。



## 1 月

### 「うずとハートのいすサイン」ワークショップ (鳴門市うずしお会館)

コロナ禍に設置された「ここに座らないでください」の物々しいサインを更新して柔らかい雰囲気にするために、鳴門のモチーフである渦潮とハートの島をイメージしたサインを制作するワークショップを開催しました。西村公一さんによるオンライン指導の下、のべ 35 名の市民が参加し、50 枚ほどが完成しました。(令和 4 年度鳴門市新型コロナウイルス感染症対策地域活動推進補助金事業)



## 2 月

### 徳島県立鳴門病院 (鳴門市) へ椅子サインの寄贈・設置

1 月のワークショップで制作したうずとハートをラミネート加工していすサインとして使えるようにし、病院に寄贈しました。病院職員の協力を得て待合の椅子に設置しました。



皆様のご協力のおかげで充実した活動ができました。ご助力に感謝申し上げます。

わたしたちと一緒にアートで社会をサポートしませんか? - 3つのコースのご提案 -

### ♥ 賛助会員コース



本法人の様々な活動にご参加いただけます。法人主催のセミナー等により知見を深めていただく機会もあります。

### ♥ 寄附コース



本法人の活動の後方支援により社会貢献していただけます。(現在、税額控除法人とはなっていません。)

### ♥ 企業・団体の社会貢献コース

SDGs にもつながる本法人の活動は、楽しみながらできる社会貢献として好評です。ご希望に沿う方法を提案させていただきますので、ぜひ事務局までご相談ください。